

# ホテル旅館における留意事項

## 基本的な考え方

不特定の人々が訪れるため、十分な感染拡大防止策を行うことが、従業員及び宿泊客の感染を防止し、事業の持続可能性を確保する上で極めて重要です。

## 具体的な取り組み

### ■ 共通事項

- ・従業員と宿泊客及び宿泊客同士の距離を保ち、従業員と宿泊客の接触機会を減らすように努める。
- ・従業員は毎日体温測定、健康チェックを行い、ユニフォーム等はこまめに交換・洗濯する。

### ■ チェックイン・チェックアウト時

- ・団体旅行の場合は代表者がまとめてチェックイン・チェックアウトを行うよう案内する。
- ・感染が発生した場合に連絡が取れるよう、宿泊者名簿の記載を徹底する。
- ・フロントデスクに透明な板やビニールカーテンを設置する。
- ・手続きを待つ際に宿泊客同士の距離を保つため、並ぶ際の立ち位置を表示する。

### ■ 大浴場

- ・一度に入場する人数を制限する。
- ・宿泊客同士の距離を保つため、洗い場の使用を一部制限する。
- ・ドライヤー等の共有備品を頻繁に消毒する。

### ■ 食事

- ・座席レイアウトを変更し客席の間隔をあける。
- ・お酌や盃の回し飲みは控えるように要請する。
- ・料理は大皿での提供は控えて1人前ずつで提供、取り分けが必要な場合は従業員が取り分けを行う。

### ■ 客室・館内清掃

- ・使用済のタオル等は、洗濯・消毒までは人が触れないようビニール袋等に入れて密閉保管する。
- ・客室清掃時は窓を開けて換気を行う。
- ・客室内の宿泊客が触れる部分を消毒する。また、スリッパ、茶器などは使用の有無にかかわらず、消毒するか消毒済みのものと交換する。
- ・エレベーターのボタンやドアノブなど、不特定多数の人が触れる共用部分は、時間を決めて頻繁に消毒を行う。

各業界団体が作成したガイドラインも必ず確認し、業務における感染防止を徹底しましょう。

～参考～

### 【ガイドライン】

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連会・日本旅館協会・全日本シティホテル連盟

『宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン』

<http://www.ryokan.or.jp/top/news/detail/298>

